

PHARMACY DIGEST

8・9

2021 August &
September

【巻頭インタビュー】…… 2 P

＊ 機械化で業務の効率化を推進 薬剤師が長く勤務できる薬局づくりに注力

払出しロボットを導入し薬剤師は本来業務に集中

株式会社田無薬品 薬局事業部執行役員／薬剤師 磯部紀子

【薬業連携 ～薬剤師が変わると病院が変わる～⑩】…… 6 P

＊ 薬剤師の病棟業務における実践事例——当院の場合

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長／医療法人嘉健会 思温病院 理事長 狭間研至

【これからの地域医療を担う保険薬局の役割③（最終回）】…… 7 P

＊ 薬局薬剤師の専門性とかかりつけ機能

群馬県薬剤師会 副会長 島田光明



バックナンバーはこちら

PHARMACY DIGESTは



日本ケミファ株式会社

がお届けいたします

機械化で業務の効率化を推進 薬剤師が長く勤務できる薬局づくりに注力 払出しロボットを導入し薬剤師は本来業務に集中

東京都西東京市で地域密着型の保険薬局4店舗を展開している田無薬品。総合病院主体、在宅医療主体など、各店舗の応需する処方箋の傾向は異なり、それがそれぞれの特色となっている。対人業務や在宅医療が重視される中、同社では薬剤師を手厚く配置するとともに、薬の在庫管理や払出し、一包化鑑査などで機械化を進め、薬剤師が本来業務に集中できるような環境を整備。さらに福利厚生にも力を入れ、働きやすい環境づくりを重視している。

田無駅周辺に特化した「地域密着」展開 総合病院から在宅まで手がける

——はじめに貴社の保険薬局事業の概要を教えてください。

磯部 田無薬品は、1986年に東京都の旧・田無市(現・西東京市)での保険薬局開設とともに創設されました。当初から「地域密着」をコンセプトにし、現在は西武新宿線田無駅を中心とした半径500メートル以内に4店舗を構えています。

処方箋の傾向の違いから、各店舗にはそれぞれ特色があります。1号店である「田無本町調剤薬局」(以下、本町薬局)は、近くの総合病院(183床)から多様な診療科の処方箋が持ち込まれます。「薬局ホームケアファーマシー田無店」(以下、ホームケア薬局)は、同じ病院の小児患者対応を意識してつくられた薬局で、チャイルドスペースなど子ども向けの設備があります。訪問薬剤管理指導に早くから力を入れ、最近では在宅訪問患者数は100人以上と4店舗の中で最も多く手がけています。そのほか、整形外科クリニックの処方箋を多く応需し、リウマチ財団登録薬剤師のいる「田無プラザ薬局」や、近隣の精神科病院の処方箋を中心に応需している「南町調剤薬局」があります。

——各店舗で処方箋の傾向がだいぶ異なるわけですね？

磯部 そうですね。そのため、それぞれの店舗の特色に合わせた人員配置や合理化の取り組みを行っています。

——磯部先生は薬局事業部執行役員ということですが、どのような業務を担当されているのでしょうか。

磯部 私は外来をはじめ4店舗全体を統括しています。在宅部門を担当する薬剤師執行役員と役割分担をしています。

——外来と在宅で担当を分けているのですね。在宅業務に関しては何店舗で手がけているのですか。

磯部 訪問薬剤管理指導は4店舗ともに手がけていて、いずれも個人在宅が多いですが、本町薬局は施設在宅も手がけていて、有料老人ホームやグループホームのほか、訪問薬剤管理指導の算定対象ではありませんが特別養護老人ホームなどのお薬の用意も担当しています。一方で、終末期や重症のケースに関しては、経験が豊富なホームケア薬局でほぼ受けています。

ホームケア薬局は、この地域でも先陣を切って在宅医療を行ってきたので、他の店舗もそれに倣い展開している形です。在宅担当の執行役員は西東京市薬剤師会の活動に関わり、多職種連携研修会なども開催しています。それらに参加し、顔見知りになったケアマネジャー等から近隣の在宅ケースに関して問い合わせを受ける、薬局の患者さんが在宅医療に移行したときに連絡を受けるといった流れから、訪問薬剤管理指導に入ることが多いですね。

基準よりも多めに薬剤師を配置 「対人業務や丁寧な対応には人員が必要」

——地域密着型がコンセプトということですが、健康サポート薬局の届出はいかがですか。

磯部 今のところホームケア薬局が届出をしています。本町薬局は申請済み、他の店舗でも準備を進めています。地域住民の健康を支えることをポリシーにしているので、各店舗ともセルフメディケーションは重視しています。

OTC医薬品や医療雑貨に関しても、処方箋を持ってきた方が他の店まで買いに行かずに済むように品揃えに努めていますし、やわらかさを考えた食品やカロリーや塩分を配慮した食品なども置いています。

——ひと月の処方箋枚数はどれくらいですか。

磯部 新型コロナウイルス感染症の影響で処方箋枚数が減って

■ 株式会社田無薬品 概要 ■

1986年設立。東京都西東京市で保険薬局4店舗を運営。総合病院の処方箋を主体とした田無本町調剤薬局(ひと月の処方箋約3,000枚超)、在宅医療に注力する薬局ホームケアファーマシー田無店(同約2,000枚超)、整形外科主体の田無プラザ薬局(同約1,500枚)、精神科主体の南町調剤薬局(同約2,000枚超)からなる。薬剤師数は社員27人、パート10人。

・本社所在地：東京都西東京市田無町4-25-5

・URL：https://www.e-okusuri.co.jp



▲1号店である田無本町調剤薬局



者さん1人に固定で担当薬剤師を付けていたのですが、それを止め、半日単位のシフト制で訪問薬剤管理指導を行う形にしました。

月曜日の午前中の在宅担当薬剤師が、その時間帯に訪問予定の患者さんを全て回るといった形です。その結果、一度に何人もの薬剤師が訪問に出ずに済み、外来対応をする人が常に一定数確保できるようになったことで、慌ただしさがだいぶ解消されました。体制の変更に伴い、各薬剤師がすべての在宅患者の状態を把握するようにしたので、在宅に関する問い合わせに誰でも対応でき、他職種連携がよりスムーズになりました。

いるのですが、本町薬局で月約3,000枚超、他2店舗が2,000枚超で、最も少ない店舗が1,500枚ほどです(概要参照)。

弊社全体で薬剤師数は社員27人、パート10人ですが、処方箋の枚数や傾向などに合わせて配置しています。薬剤師数が一番多いのは本町薬局で、パートも含めると11人が所属しています。

——月3,000枚超の処方箋応需で薬剤師11人というのは手厚い人員配置ですね。

磯部 薬剤師数は多いですね。ご年配の患者さんも多いため、コンプライアンスや副作用などの確認、残薬調整などもありますし、多科受診で併用薬のチェックが必要な方も少なくありません。対人業務が重視され、患者さんへの聞き取りや情報提供などに以前よりも時間をかけるようになった今、処方箋40枚に対して薬剤師1人では厳しいと思っています。

加えて、薬をお渡しする際、後で「薬が足りない」といったクレームを防ぐ目的で、薬を1種ずつ見せて日数や個数を患者さんと一緒に確認するようにしています。実際、この方法を取り入れてからクレームは激減しているのですが、こうした丁寧な対応にはやはり時間がかかります。個人的には、処方箋20～30枚に薬剤師1人がちょうどよいのではないかと考えています。

——在宅患者数が多いホームケア薬局には、どの程度薬剤師がいるのですか。

磯部 社員4人とパート3人の配置です。ただ、外来の処方箋応需に加えて、100人以上の患者さん宅に訪問するとなると十分ではないので、最近体制を変更しました。以前は患

機械化で業務を効率化することで 本来業務に集中できストレスも軽減

——対人業務や在宅業務などで業務量が増加する中で、お話のように運営側には業務やシステムの効率化も求められていますね。ほかにも取り組まれていることはありますか。

磯部 機械化は取り組みの1つです。厚生労働省から調剤業務において薬剤師以外に実施させることが可能な業務を整理した通知(0402通知)が2019年に発出されましたが、弊社では補助者ではなく、「機械でできることは機械に任せる」という考え方で以前から方法を模索してきました。

店舗によって規模や処方箋の内容などが異なるので、それに合わせて配置する機械を選定しています。例えば、精神科病院の処方を中心の南町薬局は、錠剤などの一包化が多いため大型の自動分包機を置いています。

一包化鑑査支援システムは、本町薬局と南町薬局に入ってい

写真1 一包化鑑査支援システムの様子(田無本町調剤薬局)



▲一包化した内容が分包ごとに画像化され、画面で分かりやすく確認できる。鑑査記録は保存可能。▶挿入口から読み込まれ、鑑査・記録された分包は、ラベル印字されて搬出口へ。



写真2 自動入庫払出しシステムの様子

(田無本町調剤薬局)



自動入庫払出しシステムによるスムーズなピッキングで、薬剤師の作業は効率化。稼働している様子は、待合室からもガラス越しに見学できる。

した。

また、2,000品目以上の薬剤を持つ本町薬局では、在庫管理や棚卸に時間をとられ、調剤でも薬を探すのに手間取ることがありました。そこで、薬の入庫や処方箋に基づく払出しを自動で行ってくれるロボット(写真2)を導入しました。納品された薬を入庫口に入れると、ロボットが決めた区画に保管し、処方箋データをもとに薬を払出します。1日の終わりに、その日に払出した薬の一覧表が印字され、表に記載されたバーコードを端末で読み取って、発注しています。以前は薬を棚から出す補助者を置いていましたが、今は入庫払出しロボットにほぼすべて任せています。

このロボットを入れてから業務の流れも見直しました。レセプトコンピュータ(レセコン)への入力前に、処方箋を監査して内容を確定させる必要があるため、カウンターに薬剤師を専属で置き、患者さんから処方箋を受け取ったらその場で話を伺い、電子薬歴を確認して監査し、必要があれば疑義照会しています。一旦レセコン入力・調剤した後の処方変更がなくなったので、受付から投薬までの流れが一方向になりました。

そのほか、本町薬局、ホームケア薬局では患者さんの待ち時間対策として、どこにいても投薬の準備状況や待ち時間の目安を確認できる、順番管理システムを導入しました(写真3)。処方箋受付時に患者さんごとに番号を発券し、その用紙に記載された二次元コードをスマートフォンで読み取ると、薬の準備状況がリアルタイムで把握できます。

——入庫払出しロボットなどはかなり高額だと思いますが、機

ます。写真1

は本町薬局の鑑査支援システムです。一包化したパックに入った薬を画像撮影し、薬に刻印されているコードや数量などを処方内容と照合する仕組みで、パックの画像や薬剤名・数量データも自動的に記録してくれます。施設の処方箋や長期処方が増える中で、目視での鑑査業務にかかる時間は大幅に減りま

械化によって薬剤師の仕事内容に変化はありましたか。

磯部 実は、機械化により薬の取り揃え業務がなくなったことで、薬剤師が患者対応にかけられる時間が変わったか等を検証しました。結果は患者対応の時間はほぼ変わりませんが、待ち時間は短くなりました。

薬を探したり在庫をチェックしたりといった本来業務以外の部分でのストレスから解放され、処方箋監査や服薬指導、患者情報の吟味といった本来の仕事に集中できるようになりました。また、何よりヒューマンエラーを減らせることが機械化の一番のメリットだと考えています。

——もともと薬剤師を基準より多めに配置しているというお話がありましたが、機械化で体制の見直しも考えていますか。

磯部 服薬後のフォローや薬歴への記録など、今まで以上にきめ細かい対応が求められている中で、薬剤師を減らすことは考えていません。薬剤師にはやろうと思えば、やるべき仕事はいくらでもあると考えています。

女性薬剤師が仕事を続けやすいよう 育児休暇や時短勤務を充実

——保険薬局運営で貴社が大切にしていることは何でしょうか。

写真3 待ち時間短縮の工夫として順番管理システムを導入

(田無本町調剤薬局)



順番管理システムのモニターは、待合室側(写真上)だけでなく、店舗の外からも見える位置にも配置(写真下)。受付時に番号を発券し、券の二次元バーコードをスマートフォンで読み取ると薬の準備状況がすぐ把握できる仕組みだ。

磯部 人がいないと成り立たない業態なので、人材を大事にしています。弊社の有給取得率はほぼ100%ですし、薬剤師には女性が多いので、出産しても仕事が続けられるように育児休暇、勤務時間短縮制度の充実や利用しやすい雰囲気づくりに配慮しています。

ここ10年ほどを振り返っても、配偶者の転勤で退職した人はいましたが、出産や育児で辞めた人はほとんどいません。店舗すべてが田無エリアにあって転勤がないことも理由の1つかもしれませんが、離職率は低いです。

——保険薬局は人材の流動性が高いと言われますが、貴社は働きやすい環境なのかもしれませんね。人材採用で留意されていることはありますか。

磯部 人数は少なくとも新卒者を毎年コンスタントに採りたいと思っています。できれば地元が近く、ずっと仕事を続けたいと思っている人がいいですね。遠方の人には、引っ越しのための準備金や住宅手当を出しています。

また、薬学生の実務実習は積極的に受け入れています。今は1年間に4期設定されていますが、每期3人程度来ていて、弊社に入社する人もいます。

一時期、新卒採用ができなかった年があったので、弊社をアピールするためのツールを見直しました。若い薬剤師の提案を取り入れ、会社説明会やインターンシップなどの情報発信の際にホームページとLINEをリンクさせました。それをきっかけに、ホームページも刷新しようと、若手数人を加えた委員会を立ち上げリニューアルを行いました。現在、ブログも定期的にアップしようと動いています。

新人研修では達成度を自己評価し週1回の振り返り面談でケア

——新卒採用した人材の教育体制を教えてください。

磯部 新人研修は、薬剤師数も多く、さまざまな科の処方箋に触れることのできる本町薬局で4カ月間集中して行っています。毎日、レセコン入力や調剤、監査など研修を行うテーマごとに指導役の薬剤師が付き、ほぼマンツーマンで机上講習と現場での実習をセットで行います。

学んだ内容の達成度は、毎日「評価票」(写真4)で振り返ります。業務内容をいくつかの項目に細分化して、自分と指導薬剤師が別々に、達成度を3段階評価するのです。

研修責任者の私は本人と指導者の評価に差がないか、新人薬剤師の間で達成度に差がないかなどを確認し、必要ならば研修内容を見直します。さらに週1回は評価票を用いて、新人薬剤師と振り返り面談をしてケアします。この面談は分からないことを質問したり、自分の達成度を確認できるため、新人にとっても良い機会になっているようです。

写真4 新人研修で活用している「評価票」の一部

項目	評価内容	達成度		達成できないと認める具体的な内容 (ある程度・まだまだをチェックした場合)
		できた	ある程度できた	
①鑑査	小児の処方せん監査が問題なくできた	3	2	1
②鑑査	一歩の鑑査が問題なくできた	3	2	1
③鑑査	PROGPTIOを使用する	3	2	1
④鑑査	患者不在時の鑑査対応が問題なくできた	3	2	1
⑤鑑査	患者不在時の鑑査対応が問題なくできた	3	2	1
⑥鑑査	処方せんを提出できた	3	2	1
⑦鑑査	7日以内で患者名の確認ができた	3	2	1
⑧鑑査	検診がきちんとできた	3	2	1
⑨鑑査	分かりやすい言葉、書面で説明できた	3	2	1
⑩鑑査	話す声の大きさ、声・口は清潔だった	3	2	1
⑪鑑査	相手への目線は清潔だった	3	2	1
⑫鑑査	基本的な効能について説明できた	3	2	1
⑬鑑査	用法用量を説明できた	3	2	1
⑭鑑査	副作用の説明ができた	3	2	1
⑮鑑査	調剤前鑑査での併用薬確認を忘れなかった	3	2	1
⑯鑑査	調剤前鑑査での併用薬確認を忘れなかった	3	2	1
⑰鑑査	処方する薬剤の内容と患者と一緒を確認できた	3	2	1
⑱鑑査	患者情報の聞き取りが問題なくできた	3	2	1

「鑑査」「投薬」「薬歴」など薬剤師の業務内容を細分して項目化。それらを3段階の達成度(できた・ある程度・まだまだ)で、新人自身と指導役の薬剤師の双方が評価する。毎日帰宅時に記入するが、すべての欄に記入する必要はなく、その日行った業務の項目が対象になる。

4カ月の基礎研修が終了すると、他店舗を数カ月単位で回ります。在宅や精神科など店舗それぞれの特徴があるので、最初から所属先を固定せず、いろいろな経験を積んでもらいます。その間に自分の興味のある領域を見つけて学びを深め、認定薬剤師の取得など目標を持ってほしいと考えています。

——リウマチ財団登録薬剤師を取得した人もいるそうですが、会社として認定薬剤師の取得や学会参加などのサポートを?

磯部 年間で上限額はありますが、資格取得に伴う費用や、学会や各種講習会などへの参加費などの補助制度を設けています。私どもの薬局では日々の業務に追われがちで、研究発表する人は多くはありません。でも、それでは学びを深められないと思うのです。年に2~3人ずつは、自分でテーマを探して研究し発表することが当たり前になるように、スタッフに働きかけているところです。

医療では新しい薬剤や治療法、エビデンスなどが日々登場しています。薬剤師をやるからには、一生勉強し続けてほしいと思います。

——最後に、貴社の今後の課題や抱負をお教えてください。

磯部 世の中のニーズに応えるべく、オンライン服薬指導の実施や、地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の認定を目指します。また目の前の問題として、患者さんの期待に応えられるよう、待ち時間を短縮したり、患者さん1人ひとりの相談にかかる時間を増やすためには、時間の有効活用方法や薬剤師のスキルアップが重要だと考えていますので、これからも取り組んでいきたいです。そのような待ち時間短縮やオンライン服薬指導を実施するためには、お薬の配送を視野に入れる必要も出てくると思いますので、今後は異職種(配送関連)の方々との協働などの検討を進めたいと思っています。

——本日はどうもありがとうございました。

薬薬連携

～薬剤師が変わると病院が変わる～

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長
医療法人嘉健会 思温病院 理事長
医師・医学博士 狭間 研至



第20回 薬剤師の病棟業務における実践事例——当院の場合

褥瘡治療への参画や、入退院時の薬薬連携 これら“その後のフォロー”で患者状態は確実に向上

薬剤師がその専門性を発揮して、病棟での活動を活発化させると何が起これるのでしょうか。私が理事長を務める病院では、薬剤師の病棟での常駐を行っています。これは別に珍しいことではないと思いますが、ちょっとやっている業務に特徴があるのではないかと感じるところがあるので、そのいくつかを紹介したいと思います。

●褥瘡治療への積極的な参画

当院は、地域包括ケア病床、医療療養型病床、10：1看護の一般病床が各60床ずつという、いわゆるケアミックスの病院ですが、入院される患者さんのほとんどは高齢者で、要介護状態の方が半数以上いらっしゃいます。ADLや栄養状態が悪く褥瘡が発生しやすい環境であるために、どの病棟でも気をつけて評価をしていますし、また、入院の際に重度の褥瘡がすでに発生しているケースもあります。

当院では、薬剤師として日本褥瘡学会でも活躍されている医療法人愛生館 小林記念病院の古田勝経先生の手法を取り入れて、薬剤師が積極的に褥瘡治療に参画しています。褥瘡を診断し、治療を開始するのは医師ですが、その際に、外用剤の選定はもとより、皮膚のテーピングや体位のアドバイスによって、正しい外用剤がきちんと創面に載るような状況を作り出すようにします。

そして、何より大切なのは、後日、その創部をチェックして創面の湿潤状態や外用剤の溶け残り具合、浸出液の量などを自分で把握した上で、必要があれば外用剤の変更についても、医師と意見を交換しながら行っていくことです。

ここでの薬剤師の専門性は、外用剤を基剤と有効成分とに分けて考えるところだと思います。自分が調剤した薬剤の効果はどうかを、自ら創部の状態をチ

ェックして評価し、次の薬剤へつなげていくことは、薬剤師でなくてはできません。適度な湿潤環境を保てるような基剤と、その創部の状態を改善させるような成分とを組み合わせた外用剤を考える薬剤師がそばにいて、チームで取り組む褥瘡治療の質は飛躍的に向上すると思います。

●入退院時の薬局薬剤師との連携

当院の入院患者さんは、高齢で介護施設やご自宅で介護を受けられている方も少なくありません。入院後、治療を終えて退院する際には、居宅療養管理指導を担当している薬局薬剤師さんに、入院中の薬物治療のサマリーを記載してお渡しするようにしています。

これは、入院中に追加や減量・中止になった薬剤があれば、その理由や経過をお伝えしたり、また、ステロイドの漸減や、浮腫が治まれば中止してほしい利尿剤など、退院時処方の中でも、今後、患者さんの経過に合わせて調整すべき薬剤の情報をお伝えしたりすることによって、シームレスな薬物治療がきちんと行われるようにすることが目的です。

当初は、あまり薬局の薬剤師さんからの返答はありませんでしたが、2年ほど続けていく中で、少しずつお返事をいただくことが多くなりました。

また、逆に、入院になった方の薬物治療の経過について、在宅訪問や外来調剤を担当している薬局薬剤師の方に情報提供を依頼することもあります。まだまだ数は少ないですが、最近は、少しずつ連携が取れるケースも出てきました。

今でも試行錯誤が続いている状況ですが、薬剤師が薬をお渡しするまでではなく、その後のフォローをすることは、患者さんの状態を確実に良くすることを実感しています。

次回は、医師と薬剤師が連携することで可能になる薬物治療管理についてお伝えします。

これからの地域医療を担う 保険薬局の役割

群馬県薬剤師会 副会長
島田 光明



第3回(全3回) 薬局薬剤師の専門性とかかりつけ機能

機能別薬局の認定が与える影響

改正医薬品医療機器等法(薬機法)により、今年8月から機能別薬局の認定が始まります。がんなどの専門的な薬学管理に関係機関と連携して対応する「専門医療機関連携薬局」や、入退院時や在宅医療などで医療機関などと連携し一元的・継続的に対応する「地域連携薬局」と掲示できるようになり、保険薬局の機能が国民にも分かりやすくなるのはとても良いことだと思います(図)。

現場にとっては、機能別薬局認定が今後の保険薬局運営にどのように影響するのかも気になるところかもしれません。これらの機能の認定が調剤報酬で評価されるかは分かりませんが、個人的には保険薬局の規模や立地に関係なく、無菌調整室の設置や24時間対応、がん領域の専門性を持った薬剤師の配置といった保険薬局の機能や薬剤師の能力と、評価とを紐付けた形であれば問題はないと考えています。

がんのレジメンを読み服薬指導ができる、あるいは輸液調整を行える薬剤師が地域全体に増えることは使用者はもとより、医療・介護関係者にとっても頼りになることです。

ただ、がんの専門医療機関連携薬局に関しては、抗がん剤の処方箋をどの程度応需しているかが関係するため、どの保険薬局でも認定を受けられるというわけではないでし

よう。地域ニーズもよく踏まえて、各薬局で対応が検討されていくことになると思われます。

認定薬剤師でも薬局薬剤師は「ジェネラリスト」

がんの専門医療機関連携薬局の主な認定要件には、日本医療薬学会の「地域薬学ケア専門薬剤師(がん)」や日本臨床腫瘍薬学会の「外来がん治療専門薬剤師」の配置が盛り込まれています。この認定が他の疾患領域にも広がることで、病院薬剤師のように専門性を持った薬剤師を目指す人も増加するでしょう。

ただし、忘れてはいけないのは、薬局薬剤師はそもそもジェネラリストだということです。認定薬剤師を目指すにしても、かかりつけ薬剤師の機能もしっかり備えておくことが大切です。それは「かかりつけ薬剤師」や「かかりつけ薬局」の届出をするためではなく、来局する患者さんの幅広いニーズに応えるためです。

日本薬剤師会の研修では、「かかりつけ薬局」の届出をするかどうかに関わらず、「その機能を果たせるようになることが重要です」と説明しています。

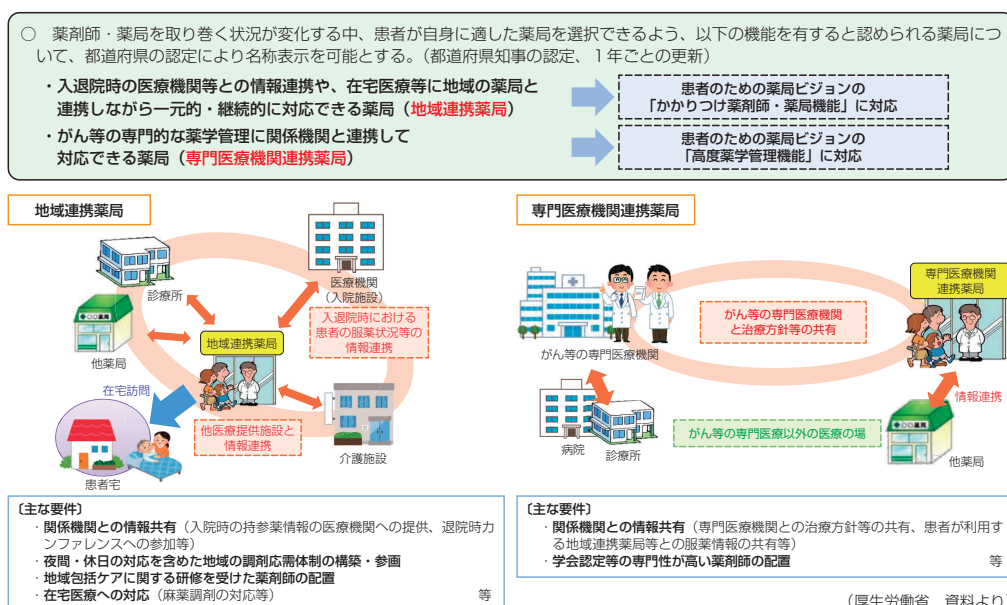
薬局薬剤師1人ひとりについても絶えず能力を磨く努力をし、かかりつけ機能を強化する努力は必要だと思います。さらに、認定薬剤師を目指すのであれば、“資格マニア”に

ならないように、実際にその知識を活用し機能させることが重要です。

また、機能別薬局の認定により、専門性を打ち出し地域の中で差別化を図ろうとする動きも出てくるのではないかと予想します。

そのときにがん専門などに限らず、ヘルスケアも含めた OTC 医薬品の提供に加え、漢方薬に関する専門的な話ができる薬局、在宅医療に強い薬局など、それぞれが自分の保険薬局の特色を示していくことも大切だと考えます。

図 特定の機能を有する薬局の認定(令和3年8月施行)



地域に飛び出すことで「役割」も見えてくる

これからの薬局薬剤師に必要とされる機能の1つに、地域に出て多職種と連携することが挙げられますが、地域によっては何をすればいいのかと戸惑う声も聞かれます。6年制課程で学んだ薬剤師が誕生してから、今年でちょうど10年になりますが、彼らは医師や看護師とどのように連携していけばよいのかを知識として学んできています。6年制の薬剤師は、地域に出て自分が何をすべきかと考えるのではなく、「多職種とどう連携すれば患者さんの役に立つか」という観点から自分の役割を考えます。

実際、多職種が集まる場に飛び込んでいきさえすれば、自ずと役割が見えてくるか、周囲から求められることが多いと思います。そして自分たちが気づいていない、多職種が薬剤師という専門職に対して寄せる期待を発見するはずで。

最近も、地域包括支援センターの保健師から「会議での薬剤師さんの発言で助かっています」とお礼を言われました。後日、発言した薬剤師にそれを伝えると本人に自覚はなかったようですが、周りの見方は違うのです。もっと自

分たちの仕事に自信を持っていただきたいと思います。

今、医療制度の見直しの中で保険薬局にも変革が求められていますが、薬剤師ほど薬に関する勉強に時間を費やしている職業人はいません。薬機法が改正され、薬局は単なる調剤する場だけでなく、薬の適正な使用のために必要な情報の提供や指導も行う場所として定義が拡大されました。薬の専門家として自分たちの使命をしっかりと実践していれば、今後医療制度や調剤報酬が議論される場面になっても心配することはありません。そして与えられた仕事をこなすだけでなく、様々な分野で関係機関と連携しながら、健康作りから介護予防まで、地域住民のために必要とされる仕事を自ら切り拓いてほしいと思います。

「先義後利」という言葉があります。義を先んじて、利を後にするという意味です。今、評価されている取り組みも、先覚者が挑戦してきたことが結実したものです。一步踏み出すことが、今まさに薬局薬剤師に求められているのだと思います。

島田 光明(しまだ・みつあき)

1979年明治薬科大学卒業。病院勤務等を経て、2003年10月より2021年3月まで株式会社ファークロス代表取締役。群馬県薬剤師会副会長。

高血圧症・狭心症治療薬 持続性Ca拮抗薬

劇薬・処方箋医薬品^注

薬価基準収載

アムロジピン錠 2.5mg・5mg・10mg 「ケミファ」
〈日本薬局方 アムロジピンベシル酸塩錠〉

アムロジピンOD錠 2.5mg・5mg・10mg 「ケミファ」
〈日本薬局方 アムロジピンベシル酸塩口腔内崩壊錠〉

製造販売元:日本薬品工業株式会社



錠剤写真



PTPシート写真

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

●効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照ください。



販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

日本ケミファ株式会社

東京都千代田区岩本町2丁目2-3

2021-7

おくすりに関する資料及び製品に関するお問い合わせ先

日本ケミファ株式会社 くすり相談室(安全管理部)

受付時間 8:45~17:30 土日・祝祭日を除く

TEL 03-3863-1225 フリーダイヤル 0120-47-9321



PHARMACY DIGEST [2021年8・9月号]

発行日 ■ 2021年8月1日

発行 ■ 日本ケミファ株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2丁目2番3号

TEL: 03-3863-1211 (大代表) URL: <http://www.chemiphar.co.jp>

製 作 ■ 株式会社ドラッグマガジン / 印刷 ■ 広研印刷株式会社